

意見交換会報告書

委員会名	「安中市心身障害児者父母の会」と「福祉民生常任委員会」との意見交換会
参加議員	●福祉民生常任委員会 委員長 長嶋陽子 副委員長 宇佐美誠 委員 金井登美雄、佐藤貴雄、柳沢吉保、柳沢浩之 ●議会改革推進特別委員会 委員長 今井敏博 委員 原田 大
意見交換団体	安中市心身障害児者父母の会
団体参加者	安中市心身障害児者父母の会役員 11 名
日 程	令和 7 年 8 月 4 日(月)10 時～11 時
場 所	安中市役所 3 階 委員会室
テーマ	福祉の充実について
説明内容	【安中市心身障害児者父母の会について】 ・役員会のメンバーは 14 名。 ・毎月第一月曜日役員会をふくしの家で開催。 ・10 月旅行。 12 月クリスマス会を細野ふるさとセンターで開催。 ・福祉ふれあいまつり・まついだ夢伝大会の出展。 ・これまで、福祉パレードを実施してきたがコロナ禍よりできなくなり、今年からは知的障害者福祉月間記念行事となる。
意見交換会の 発言概要	【グループホームについて】 ・グループホームへ入所希望しているが、なかなか受け入れ施設がない。 ・一般の老人ホームはあっても、障害者の人の老人ホームがあると、聞いたことがない。一般就労している人が入所できる施設も欲しい。又、必要なときがくるのではないか。 ・入所できるグループホームがあっても、当直勤務のスタッフが居なく障害者の入居者だけで、何かあったときのことを考えると心配で利用できない。 ・3月末で閉所した桐の木クリニックのグループホームの建物を、例えば、一般就労している方がスタッフのサポートを受けながら生活できるように、利活用できないか。 ・自分たちは、年をとってくる。また、急に事故や病気になる等、その時はどうすればいいのか、一番心配であることから、短期入所やショートステイなど、受け入れてもらえる場所を作ってほしい。 ・本人が自立したいという気持ちがあっても、行く場所がない。障害者でも、自立したい気持ちがあることを、わかってほしい。 ・高齢者施設などはいろいろできているが、障害者施設などは、取り残されている。また、障害をもっている子どもさんは、それぞれ障害は違って、大変さも違うが、健常者の子どもを育てるのは、全然違う生活をしている、ということ、わかってほしい。 【相談体制について】 ・高齢者の介護支援では、担当に付くケアマネージャーが、プランの計画や相談などに応じてくれるが、障害者は、相談員になる。しかし、相談員に相談してもなかなか、ケアマネージャーと違って、何か良い解決方法や助けてもらっていることが無いのが現実。 ・市役所の福祉課でも市内の状況が把握できていないため、最新情報が手に入らない。

	【父母の会について】 ・今の若いお母さんたちは、新しくグループを作っているようで、父母の会を知らせても、「結構です。」と断られてしまう。 ・現在の役員さんができなくなったら、もう父母の会は終わりという、すごい危機感を持ちながら、今活動をしている。 【その他】 ・マイナンバーカード取得一つにしても大変なので、行政の事務手続き等、もう少し配慮してほしい。 ・安中市に特別支援学校がない。
市への提言 または要望	・県からグループホームの新設や空き状況等の情報を入手したら、その都度、情報提供をお願いしたい。 ・一人一人に寄り添った支援、適切な対応してもらえるよう、相談体制の強化を図ってほしい。 ・行政手続き等は、場合によっては個室を設けるなど配慮した、臨機応変の対応をしてほしい。

安中市心身障害児者父母の会 との意見交換会報告書

令和 7 年 8 月 4 日

安中市議会 福祉民生常任委員会